

【関係法令等】

- ・日本国憲法
- ・教育基本法
- ・学校教育法
- ・東京都教育委員会教育目標
- ・練馬区教育委員会教育目標

【学校の教育目標】
 「心身ともにたくましい人間性豊かな児童の育成」
 <教育目標具現化のための具体的目標>

- ◎ よく考え、工夫する子ども
- 思いやりのある心やさしい子ども
- 進んでものごとにとりくむ子ども
- 体力のある元気な子ども

【期待される児童】

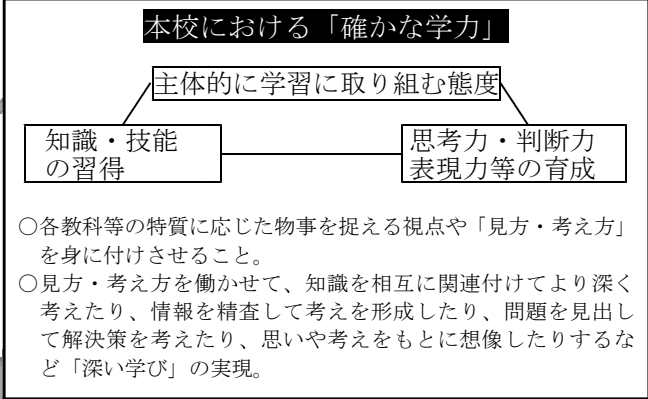
自ら学び、自ら考え、主体的に活動できる子ども

【学校経営方針】 (学力向上にかかわる要点)

- 基礎的・基本的な知識・技能を着実に獲得し、既存の知識・技能と関連付けたり、組み合わせたりすることによって、その定着を図る。
- 言語活動等、思考と表現をともに進化させる学習活動を通して、思考力・判断力・表現力を育む。

各教科・外国語活動の指導の重点

- 学習指導要領の理念の具現化を図り、指導内容を明確化と指導計画を推進する。
- 児童の実態や発達段階を正しく捉え、それに基づいて教材・指導方法を工夫するとともに、学習過程を大事にし、児童の意欲的な学習活動を促す。



道徳教育の指導の重点

- 道徳教育全体指導計画に基づき、教育活動全体を通して道徳教育の充実を図る。
- 年間計画を基に授業を充実させ児童の道徳的心情を豊かにするとともに道徳的判断力を高め、実践意欲の向上を図る。
- 道徳科の授業では、「考え、議論する道徳」の授業を通して、よりよく生きるために道徳的価値と向き合い、いかに生きるべきか自ら考え続ける姿勢を育成する。

総合的な学習の指導の重点

- 計画的・継続的な体験活動や多様な学習活動を通して、自ら問題を解決する力を育て、自己の生き方を考えられる児童を育てる。

キャリア教育の重点

- キャリア・パスポートを活用し、様々な学習体験から広い視野をもたせ、自己を、見つめる態度を育成することで、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現できる資質や能力を育成する。

生活指導の重点

- 挨拶・後片付け・歩き方の指導を徹底し、望ましい生活習慣の確立を図る。
- いじめ・不登校の早期発見、対応に向け、教育相談チームの機能強化と家庭や関係諸機関との連携強化を図り、児童の心身の安定を図る。

特別活動の指導の重点

- 見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的・実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら、集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、集団や社会の形成者として必要な資質・能力を育成する。

本校の授業改善に向けた視点

指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫	小中一貫教育の充実
<ul style="list-style-type: none"> ○習得と活用を見据えた単元計画の作成 ○ねらいを明確化した言語活動の充実 ○一斉学習、個別学習、協働学習を効果的に行うためのICTの活用 ○ユニバーサルデザインの視点にたった授業改善 	<ul style="list-style-type: none"> ○モジュール学習を位置付け、国語、算数の授業時数を標準時数+10時間確保 ○週1回の朝読書や学校図書館管理員、小竹図書館との連携を通じた、読書活動の推進 ○障がい者理解、日本人としての自覚と誇りを重点としたオリンピック・パラリンピック教育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○学期に1回の授業観察では、ICTを効果的に活用した授業実践の計画 ○年間4回、教員に向けたタブレット研修会の実施 ○ICT支援員と連携したOJTの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○カリキュラムマネジメントの視点に立った年間指導計画表の作成 ○指導と評価の一体化の視点に立った「授業改善推進プラン」の作成 ○児童が学びの価値を認識できるような評価をしていくこと 	<ul style="list-style-type: none"> ○外部評価の活用(児童及び保護者、学校評議員による評価の活用) ○学校支援コーディネーターによる学校ボランティアの積極的な導入 ○近隣大学や地域の優れた人材を活用した特別授業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○「目指す15歳の姿」に向けた3校合同研究会の充実と、年間2回の授業研究会の協議内容の活用 ○6年生対象の旭丘中学校説明会参加や部活動体験の実施 ○小一プロブレム解消に向けた豊玉地区幼稚園・保育所との懇談会の実施